



## 大震災の経験に耳を傾けて

— 名瀬小学校地域防災拠点防災訓練 —



被災者の経験談

10/15(日) 震度 5 強の地震が発生したとの仮定で、一時避難場所である町内会館に集まり、9:50に地域防災拠点である名瀬小学校へ各組代表の50名ほどで出発しました。

小学校では、避難所の在り方など丁寧に説明されました。家が住めない状態で避難場所に避難する際は無洗米(災害時には米を研ぐ水がありません。)を持ち寄る、主に避難している人たちが皆で一緒に避難所の運営を担っていくことなどの説明がありました。

訓練で一番印象に残ったのは、東日本大震災で被災された福島県の方の経験談でした。

子どもとの約束で、下校途中に被災したら、この地点では学校に戻る、この地点だったら自宅まで戻るなど、家族で約束し、何度も確認したとのこと。避難所で配られる紙皿は滞在中一人一枚なので、食事ごとにラップを使用しました。家族分だとかかなりラップが必要となりました。

そして、持ち寄りが必須の避難所での生活は、何よりもご近所との付き合い、助け合いで救われた。という話でした。

町内会の行事や役などで顔見知りの方を増やし、ご近所付き合いの中から新しい情報を得るというのが、町内会の重要な役割と思えました。



避難場所が開設された場合の名瀬小学校での受付後の動線。

体調に不安があり、避難場所や物品を必要とする方



受付後イルカ門(妙法寺側の門)から図工室へ

体調に不安はなく、避難場所や物品を必要とする方

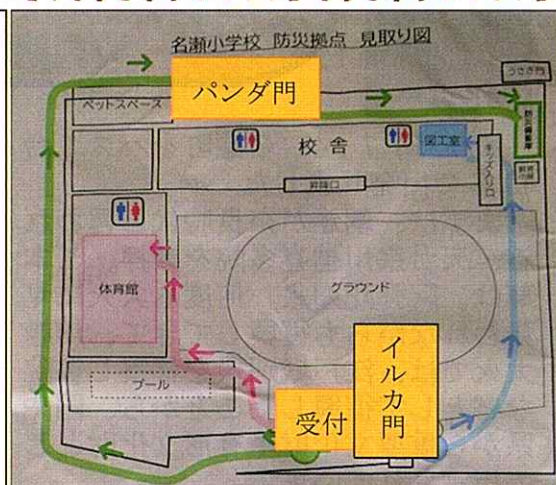


受付後イルカ門(妙法寺側の門)から体育館へ

避難場所は必要とはせず、物品のみの支援が必要な方



受付後外を回ってパンダ門から備蓄庫へ



段ボールベッド



段ボールベッドは、床にそのまま寝るよりもはるかに寝やすいと各地の避難所で導入されています。備蓄庫に保管。組み立ても避難者が協力して組み立てます。



今年の2月に町内会のささえ愛事業で援護希望者に配布された“無事ですタオル”を安全確認の訓練に使用した組もありました。



消防団から身を守る安全についての話。

地域の方で成り立っている消防団。蛇騒動の時も何度も地域の見守りをしてくれました。

団員を募集中!

# 4年ぶり「敬老の日」祝賀会開催



9/18(月) 13時から名瀬小学校体育館にて「敬老の日」祝賀会が名瀬連合町内会主催で4年ぶりに開催されました。まだまだ残暑厳しい時期ではありましたが、新しい冷暖完備の体育館で余興の部の楽しさもあり、少し暑さも和らいだひと時でした。

昨年4月に就任された國本直哉区長をはじめ、多くの来賓の臨席をえて4年ぶりに祝賀会が開催されました。区長からは、厚労省の発表によると今年の9/15で100歳以上の人口が約9万2千人で、そのうち女性が88.5%との話がありました。

神奈川県では100歳以上の方が約4900人横浜市で約2600人いらっしゃるとのこと。皆で健康に留意して地域で元気に楽しく、過ごせるといいなと思いました。

余興の部は、コロナで中断までは毎年出場の名瀬コーラス、器楽演奏を始め、フルートとピアノの合奏やフラダンスで盛り上がりました。



区長挨拶



町内会では高橋愛子様(27組)が、めでたくも白寿(99歳)を迎えられ、連町から記念品が贈られました。



合奏の素敵な音色に皆が魅了されました。

会場が一瞬でハワイに！



祝賀会の余興の部では、第二町内会からは、紺野孝二さん(28A組)門倉英子さん(26A組)たちの歌と尺八の披露でした。

曲目は東北地方の民謡の南部牛追い唄、長持ち歌、南部俵積み唄でした。初めの2曲は紺野さんのよく響く伸びやかな声に尺八の優しい音色が一体となって、参加者も聞き入っていました。3曲目は賑やかな曲調で門倉さんの三味線と歌に合わせて手拍子が湧き上がっていました。



## 小江戸・川越満喫！

— 町内親睦バス旅行 —

10/22(日) 7:45 名瀬町をバス1台43名で出発しました。

まずは、創建が奈良時代と言われる、天台宗川越喜多院を参拝。ご本尊は、阿弥陀如来。何度も大火に見舞われながらも復興してきて、川越大火では、江戸城別殿を移築し書院などとして復興したことから、国や県から重要文化財や有形文化財として指定されています。

お楽しみの昼食は、うな重。ふわふわ柔らかくてとても大きなうなぎでした。昼食後、川越の街はまるで鎌倉小町通りを思わせるような人混み。人気の店はどこも大行列で、食べ歩きもままならないほどでした。天候にも恵まれて真っ青な空と情緒いっぱいの街並み、車窓からは紅葉も見ることができました。帰りの三芳PAで季節の野菜やお菓子などの買い物の時間もありました。

秋を満喫できたバス旅行でした。



喜多院本殿前にてパチリ



喜多院の五百羅漢は日本三大羅漢の一つ



喜多院境内 秋の趣。



歴史的建造物や史跡の保全が素晴らしい町



お楽しみの昼食はうな重弁当。昔、町を流れる清流では天然鰻がよく獲れていて名物となったとのこと。



季節外れの桜。暖かな一日

## お知らせ

町内餅つき大会 十二月十日(日)

詳しくは後日

白神社 七五三祝い式 十一月十二日(日)

町内会の締め切りは終了しています。